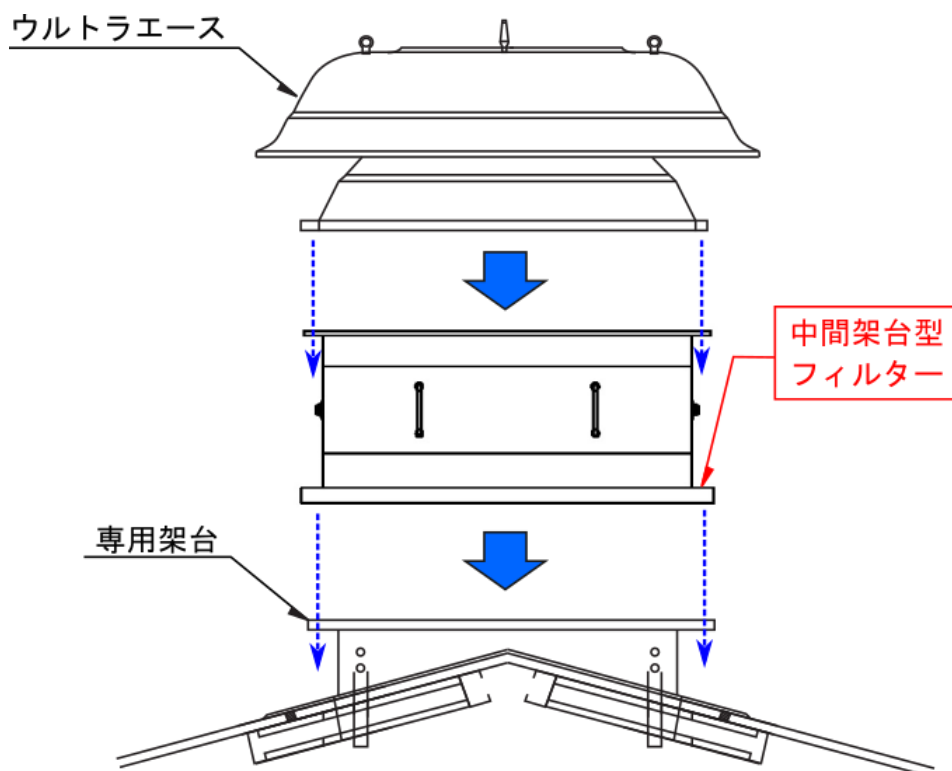


屋上換気扇ウルトラエース UAF型(排気用)オプション製品

中間架台型フィルター

取扱説明書・施工手順説明書



このたびは、三洋工業製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全のために必ず守ること」を必ずお読みください。**
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- この取扱説明書はお客様まで確実にお渡しください。
- この取扱説明書は中間架台型フィルター用です。ウルトラエースの取扱説明書（別冊）も、併せて内容をご確認ください。

お客様

お客様自身では据付けないでください。
(安全や機能の確保ができません)

- この製品は日本国内用ですので、日本国外ではご使用できず、またアフターサービスもできません。
- **正しくお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。尚、ご使用前に「1. 安全のために必ず守ること」(P. 1～2、P. 12～19)をご確認の上、正しく安全にお使いください。**
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

販売店・工事店様

本冊子は据付け完了後、必ずお客様へお渡しください。

- 据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据え付けてください。
- 据付けは、お買い上げの販売店、工事店様が実施してください。
- 電気工事は販売店、工事店様において、有資格者である電気工事士の方が実施してください。
- この製品は建屋屋上に据付けてください。それ以外の用途にはご使用になれません。故障の原因となります。
- この製品は3相200V/200V(50/60Hz)用の製品です。電源を確認して据付工事を行ってください。
- この製品は排気用です。羽根の付け替えおよび結線の変更はできません。
- 規格によって据付方法等が異なることがありますので、据付前に規格をご確認ください。
- この製品には別途、頭部や台部、送風機などの部材が必要です。屋上換気扇ウルトラエースカタログよりご用意ください。
- 当社製以外のフィルターをご使用の場合は製品との組み合わせ上、不具合が発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。

目次

お客様へ

1. 安全のために必ず守ること 1
2. お手入れ・点検 3
3. 修理を依頼される前に 6
4. 保証について 7

販売店・工事店様へ

1. 安全のために必ず守ること 8
2. 据付け前のお願い 16
3. 各部のなまえ 18
4. 据付け方法 19
5. 電気工事 24
6. 試運転 25

当社お問合せ先については
裏表紙をご覧ください

1. 安全のために必ず守ること

お取扱いの前に、この『安全のために必ず守ること』をよく読み、内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、△危険・△警告・△注意の3つに区分しています。




しかし、注意の欄に記載した内容であっても、状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

△ 危険 : 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。

△ 警告 : 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。







△ 注意 : 取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記 : 危険・警告・注意以外の情報を示します。






| | | |
|-------|---|---|
| 絵表示の例 |  | △記号は、危険を告げるもの、または警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な危険事項や、注意事項を描いたものもあります。（左図は感電の危険） |
| |  | ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止事項を描いたものもあります。（左図は分解禁止） |
| |  | ●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な注意事項を描いたものもあります。（左図はアースをする） |

1. 安全のために必ず守ること (続き)

⚠ 警 告



| | |
|--|--|
|  | 製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート、感電や火災の恐れがあります。 |
|  | どんな場合でも改造はしないでください。分解修理は修理技術者以外の人 は行わないでください。 修理はお買い上げの販売店または当社の最寄りの営業所にご相談ください。 |
|  | 運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れないでください。 ケガの原因になります。 |
|  | 電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（焦げやにおいな ど）・停電時は製品には絶対に触れないでください。 突然運転し始めてケガや感電の原因になります。 |
|  | 濡れた手で操作をしないでください。 感電やケガの原因になります。 |
|  | お手入れや保守点検の際は、必ず分電盤のブレーカを切ってください。 感電やケガの原因になります。 |

⚠ 注 意


| | |
|--|---|
|  | 製品に異常な振動が発生した場合はご使用をお控えください。 製品・部品の落下によりケガの原因になります。 |
|  | 1日50回以上の頻繁な軌道・停止を伴うご使用はお控えください。 部品の破損・落下によるケガの原因になります。 |
|  | 長時間ご使用にならないときは必ず分電盤のブレーカを切ってください。 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。 |
|  | 羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃をしてください。 振動による部品の破損、落下によるケガの原因になります。 |
|  | お手入れや保守点検の際は手袋を着用してください。 端面などでケガの原因になります。 |

2. お手入れ・点検

⚠ 警 告

| | |
|--|---|
|  | お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切ってください。 感電やケガの原因になります。 |
|  | 強風、大雨など悪天候時のフィルター交換は行わないでください。 ケガや思わぬ事故の原因になります。 |

⚠ 注 意

| | |
|--|--|
|  | お手入れや保守点検の際は手袋を着用してください。 端面などでケガの原因になります。 |
|--|--|

フィルターの取扱い注意事項

- 梱包から出してご使用ください。
- フィルターのお取扱いは必要な保護具を着用の上行ってください。
- 運搬や保管の際は、転倒、落下及び荷崩れがないよう気を付けてください。
- フィルターを取付ける際は「通風方向」を必ず確認してください。シールの矢印の向きが上になります。（P.6参照）
- 必ず当社純正品をご使用ください。純正でないフィルターをご使用の場合は性能及び製品の保証ができかねます。
- 規程の風量及び圧力損失以下でご使用ください。
- 定められた最高温度、湿度以上でのご使用は部材劣化及び破損する恐れがあります。（温度（常時）：60℃以下、湿度：90%RH以下（結露なき事））
- 火災防止上、火源を近づけないでください。
- フィルターの塩害地域へのご使用はお控え下さい。
- フィルター交換時には足場を設定する等、安全確保の上行ってください。
- フィルター交換時には、ユニットの引き出しの妨げとならないよう障害物等がないかご確認ください。
- フィルター交換時は汚れが周囲に付着しないよう、新聞紙などを用いて養生してください。
- 古いフィルターは、お住まい地域の所定の産業廃棄物業者に委託し、廃棄してください。
- ご使用環境によっては、数週間から数ヶ月でフィルター交換が必要となる場合があります。（交換用フィルターは有償となります。）

2. お手入れ・点検 (続き)

フィルター交換 (目安は1年に1度以上)

フィルター交換の方法については次ページ (P.5~7) よりご確認ください。

【交換の目安】

フィルターは消耗品です。効果的な集塵性能を維持するための交換目安は「1年」となりますが、**使い方や設置場所、ご使用環境によって交換時期は異なります。**とくに空気の汚れが多い環境でのご使用は、交換時期が早くなることがありますので、ご注意ください。

塵埃が取りにくくなった場合は、早めにフィルターを交換してください。そのままご使用になりますと、モータの破損、焼損につながる恐れがあります。

| フィルター | 規格 | 清掃の可否 | お手入れ/交換 | 頻度※ |
|----------|----|---------------|---------|---------|
| 中性能フィルター | MF | × | 交換 | 約1か月~1年 |
| プレフィルター | PF | ○ (1~2回まで) | お手入れ⇒交換 | 約1か月~1年 |

※頻度はご使用環境により異なります。

フィルターの主な材質

・ポリオレフィン系複合繊維、ポリプロピレンなど

交換用フィルターについて

交換用フィルターは消耗品ですので保証期間中でも有償となります。交換用フィルターをお求めの場合は、お買い上げの販売店または当社の最寄りの営業所にご相談ください。また、交換時は全てのフィルターを交換してください。


1台あたりのフィルターご使用枚数

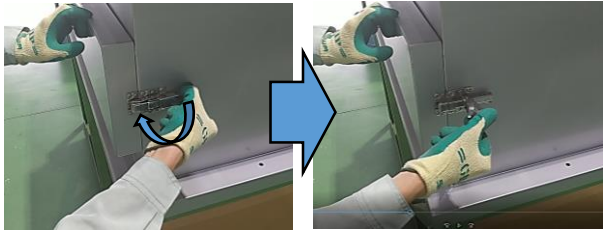
| 羽根径 | 規格 | 枚数 |
|-------|---------|----|
| 60cm | DFC-60 | 2枚 |
| 75cm | DFC-75 | 4枚 |
| 90cm | DFC-90 | 4枚 |
| 105cm | DFC-105 | 4枚 |



2. お手入れ・点検 (続き)

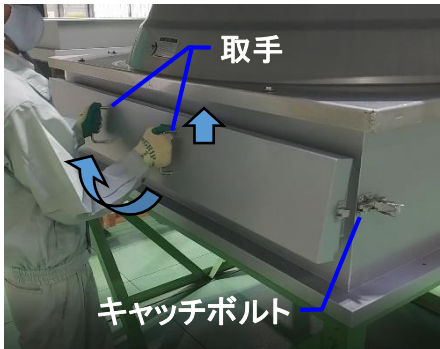
フィルター交換をする際にはP.3の注意事項をもう一度ご確認ください。

フィルター交換の方法

| | | |
|---|---|------------------------|
| 1 |  | フタの左右にあるキャッチボルトを開錠します。 |
|---|---|------------------------|

| | | |
|---|---|--|
| 2 |  <p>※右のキャッチボルトの場合になります。(左も操作は同様です)</p> | キャッチボルトはセーフティロック付になっています。開錠にはセーフティロックを押しながらキャッチボルトを引き上げてください。 ※左右でセーフティロックの位置が異なりますので、ご注意ください。 ※バネの力が強いので操作時は十分にご注意ください。 |
|---|---|--|

| | |
|---|--|
|  <p>キャッチボルト(左)</p> |  <p>キャッチボルト(右)</p> |
|---|--|

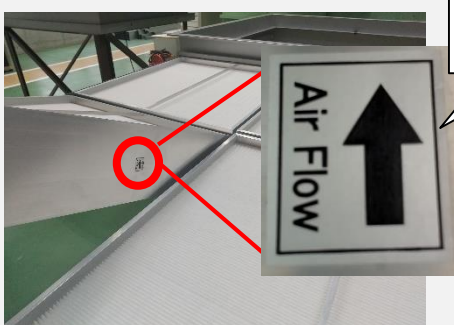
| | | |
|---|---|---|
| 3 |  | フタを取り外します。取手を両手で持ち、やや上に持ちあげるようにしながら取り外してください。 ※キャッチボルトのフックが完全に外れていることをご確認ください。 ※フタが風で飛ばされないようにご配慮ください。(安全な場所に置くか、必要に応じて固定物とロープ等でつないでください) |
|---|---|---|

| | |
|---|--|
| <p>フタが引っかかる形状になっておりますので、やや上に持ち上げる必要があります。</p>  |  <p>キャッチボルトのフックがかかったままですとフタが外れません。</p> |
|---|--|

2. お手入れ・点検 (続き)

フィルター交換の方法 (続き)

| | | |
|---|---|---|
| 4 |  | <p>ユニットを引き出します。ユニットの持ち手をつかみ、手前に引くとユニットが引き出せます。引き出す方向の障害物にご注意ください。</p> <p>※引き出す際の安全には十分にご配慮ください。 (足場及び引き出し方向の安全を確認してください。)</p> |
| 5 |  | <p>古いフィルターを全て取り出します。</p> <p>※ユニットの引き出しが十分に確保されていることをご確認ください。</p> <p>※フィルターを取り出す際の安全には十分にご配慮ください。(風にあおられる恐れがあります。)</p> <p>※汚れが周囲に付着しないよう新聞紙等で養生してください。</p> |
| 6 |  | <p>フィルターの交換に併せ、必要に応じてウルトラエースの本体や羽根、ユニット等の清掃を実施してください。</p> <p>※定期的な清掃は製品の長寿命化につながります。</p> |
| 7 |  | <p>新しいフィルターをユニットに搭載します。フィルター側面シールの通風方向を(矢印は上向き)を合わせ、正しくユニット内に納めてください。</p> <p>※ユニットの枠内からはみ出さないようご注意ください。</p> |



矢印は上向きにしてください。



ユニットに正しく納めてください。

2. お手入れ・点検 (続き)

フィルター交換の方法 (続き)

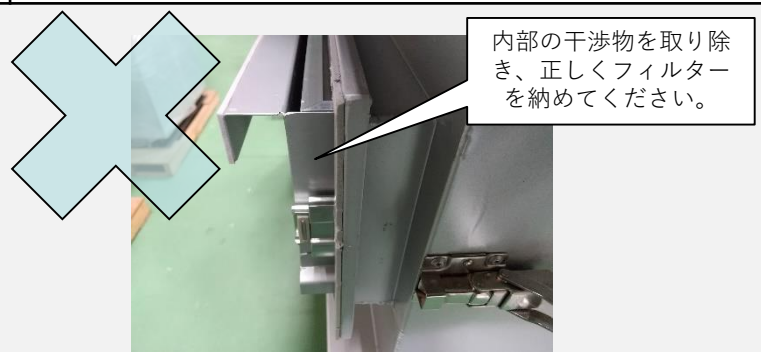
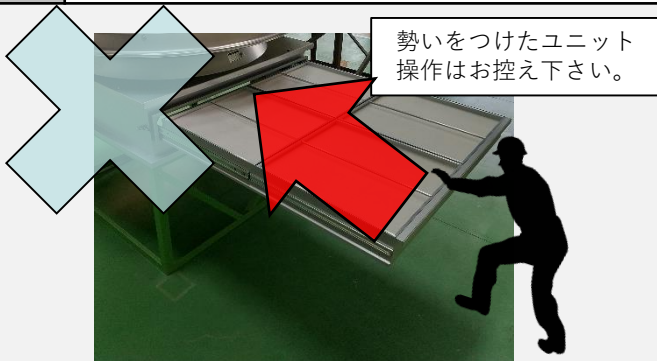
8



新しいフィルターを全て搭載し終わったら、ユニットを奥側に押し込みます。持ち手が全て入り口から隠れるようになるまで押し込む必要があります。

※勢いをつけたユニットの操作はお控え下さい。
(製品破損の原因になります。)

※持ち手が入り口より飛び出ている場合は、中の干渉物を取り除いてください。



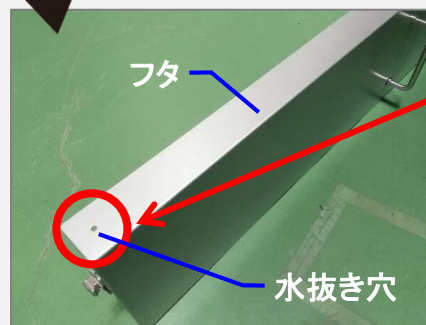
9



取手を両手で持ち、フタを取り付けてください。

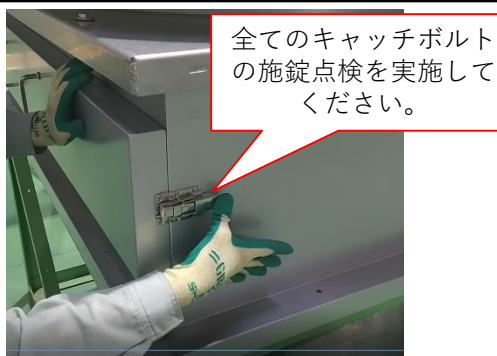
※上下の向きにご注意ください。

※フタには水抜き穴が設けてあります。水抜き穴が下が向くようにフタを取り付けてください。



水抜き穴がある面が下になります

10



フタとフィルター架台側のキャッチボルトの位置合わせをして、フックを引っ掛け留め付けます。左右のキャッチボルトを施錠し、フィルター交換は完了です。

※バネの力が強いので操作時は十分にご注意ください。
※キャッチボルトの閉め忘れにご注意ください。

※セーフティロックは施錠後に自動で機能します。

2. お手入れ・点検 (続き)

羽根などの清掃

約3か月に1度を目安に清掃をしてください。

- 羽根などのお手入れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。
- 特にほこりの多い場所でご使用の場合は、3か月に1度を目安に、下側のドレンキャップをはずしてドレンを抜き、元通りドレンキャップをつけてください。（過度の汚れは、性能低下、モータ焼損、羽根の破損の原因になります。）
- スライドレールのグリスはふき取らないでください。（ユニットの可動不良の原因になります。）
- 定期的にフィルター架台よりユニットを引き出し、可動状況をご確認ください。（ユニットが引き出せない場合には、スライドレールに塵埃等が混入し摺動性が悪くなっている可能性があります。無理に引き出しますと破損の原因になります。販売店・工事店様にご相談ください。）

全体の清掃

- 汚れが換気扇に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となる恐れがあります。必ず定期的（約1年を目安）に清掃をしてください。

お願い

- お手入れの際に下記の溶剤、洗剤のご使用はお控えください。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤。（変質・変色する原因になります。）

2. お手入れ・点検 (続き)

3か月に1度の清掃の際、下記の点検を行ってください。

| 点検項目 | | 処置 |
|-------|--|---|
| 錆 | 製品及び製品据付用のボルト・ナットが錆びていませんか？ | 部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください。錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください。（製品落下によるケガの恐れがあります。） |
| | 羽根及び羽根取付用のナットが錆びていませんか？ | 部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください。錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品交換が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。（羽根破損/落下によるケガの恐れがあります。） |
| ガタつき | 製品を据え付けたナットがゆるんでいませんか？羽根やモータは確実にとめられていますか？ | ガタつきが無いようにナットを締め付けてください。（製品落下および羽根落下によるケガの恐れがあります。） |
| 損傷 | モータの外観が変色していませんか？ | 送風機の交換が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。 |
| | 電源コードにキズなどありませんか？ | 送風機の交換が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。 |
| | 羽根に亀裂などありませんか？ | 送風機の交換が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。（羽根破損/落下によるケガの恐れがあります。） |
| ほこり | モータなどの温度の高い部分にほこりの付着はありませんか？フィルターは目詰まりしていませんか？ | 清掃してください。 |
| 異常音 | 回転時に異常な音がしていませんか？ | 送風機の交換が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。※モータ軸受けの寿命は約1万時間です。（ご使用環境によっては短くなる場合もあります。）点検の上、交換が必要です。 |
| フィルター | 塵埃が取れにくくなっていませんか？目詰まりがひどくなっていませんか？ | フィルターの交換(有償)が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。 |
| ユニット | ユニットが引き出せなくなっていますか？ | 交換(有償)が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。 |

3. 修理を依頼される前に

以下の点をもう一度お調べください

長い間ご使用の換気扇は、ご使用上支障がなくても、安全のために診断をお願いします。

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、ご使用を中止して、事故防止のためブレーカを切り、お買い上げの販売店・工事店に点検修理をご依頼ください。

ご依頼の際は、その現象内容とともに、銘板に記載している機種名等をご連絡ください。また、費用については販売店・工事店にご相談ください。

| 現象 | 原因・処置 | |
|--------------------------|--------------------------------------|--|
| 通電しても回転・始動しない | ブレーカが切れている | ブレーカを入にしてください。 |
| | スイッチに不具合がある | スイッチを修理または交換してください。 |
| | 電源ケーブル接続部の接触不良 | 接触不良箇所を接続し直してください。 |
| | 電源ケーブルの断線 | 断線箇所を補修するか、電源ケーブルを交換してください。 |
| スイッチがトリップした | 二次側電気配線が短絡している | 点検の上、結線し直してください。 |
| 運転途中で止まった (保護装置が作動した) | 羽根に異物が付着している | 羽根の清掃をするか、交換してください。 |
| | 給気側や排気側に、空気の流れの妨げになるものがある（特にダクト配管など） | 空気の流れを妨げているものを取り除いてください。 |
| | 電源ケーブル接続部の接触不良 | 接触不良箇所を接続し直してください。 |
| | 電圧降下などの電源側のトラブル | 電源側を点検してください。 |
| 運転中に異常音や振動がする | 羽根の締め付けがゆるんでいる | 締め付け直してください。 |
| | 本体の締め付けがゆるんでいる | 締め付け直してください。 |
| | 軸受けより異音がする | 送風機の交換が必要です。 販売店・工事店様に依頼してください。 |
| | 広範囲に錆びが発生している | 送風機または錆びた部品の交換が必要です。 販売店・工事店様に依頼してください。 |
| 焦げた臭いがする | 羽根に何か引っかかっている | 引っかかっているものを取り除いてください。 |
| | 周囲温度が使用範囲を超えている | 周囲温度が使用範囲を超えている場所では使用できません。周囲温度を下げてください。 |
| | モータ内部が腐食している | 送風機の交換が必要です。販売店・工事店様に依頼してください。 |

修理を依頼される場合は裏表紙をご確認ください。

4. 保証について

△ 注 意



当社製品の補修・修理には、当社純正品をご使用ください。

- 当社純正部品以外を補修部品としてご使用になられますと、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- 当社純正部品以外をご使用になった場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

保証について

この製品の保証期間は、正常なご使用状態で故障した場合において、お買い上げ日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

客先での改造、仕様変更、取付不備、保管中の破損、故障または以上に起因する各種損害等についてはその責を負いません。

詳しくは当社営業所までお問合せください

| | |
|------------------|--|
| 無 償 保 証 | <p>取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。</p> <p>また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。</p> |
|------------------|--|




下記の事項に係る修理は無償修理の保証の対象から除きます。

1. 換気用途以外で使用した場合の不具合
2. お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. 当社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形など建屋部品本体以外の不具合に起因する当該建屋部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の不具合
5. 塩害地域、温泉地域などにおける腐食性の空気環境に起因する不具合
6. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7. 火災・爆発等の事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動・等破壊行為による不具合
8. 消耗部品の消耗に起因する不具合、または消耗品を交換する際の不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合


1. 安全のために必ず守ること

お取扱いの前に、この『安全のために必ず守ること』をよく読み、内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
 また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、△危険・△警告・△注意の3つに区分しています。
 しかし、注意の欄に記載した内容であっても、状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

- △ **危険** : 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
- △ **警告** : 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。
- △ **注意** : 取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。
- 注記** : 危険・警告・注意以外の情報を示します。



| | | |
|-------|---|---|
| 絵表示の例 |  | △記号は、危険を告げるもの、または警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な危険事項や、注意事項を描いたものもあります。(左図は感電の危険) |
| |  | ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止事項を描いたものもあります。(左図は分解禁止) |
| |  | ●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な注意事項を描いたものもあります。(左図はアースをする) |





●製品保管時の注意事項

| | |
|--|---------------------------------------|
| △ 注 意 | |
|  | 現場に納入した製品の保管については、雨の当たらない場所に保管してください。 |



1. 安全のために必ず守ること (続き)

●製品仕様への注意事項

| ⚠ 危 険 | |
|--|---|
|  | 爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れのある場所には据付けないでください。 爆発や火災の原因になります。 |
|  | 酸・アルカリなどの腐食性の液体・油分やガスのある場所には据付けないでください。 腐食による本体落下などによるケガや事故の原因になります。 |

| ⚠ 注 意 | |
|--|---|
|  | 定格電圧・適格周波数以外では使用しないでください。 漏電・感電・火災・爆発・モータ焼損などの原因になります。 |
|  | 浮遊する物質を完全に除去できるフィルターではありません。 フィルターのろ材特性をご確認ください。 |
|  | 浮遊する物質によってはフィルターを通過し、モータ、羽根に粉塵繊維等が付着・固着する恐れがあり、不具合が起きる可能性があります。 定期点検を実施してください。 |
|  | 補助的な製品ですので、多量に塵埃が排出される恐れがある場合には、別途専用の機器を設けてください。 モータ焼損などの原因になります。 |

●搬入・移動上の注意事項

| ⚠ 危 険 | |
|--|---|
|  | 送電線・配電線の近くでクレーンを使用した搬入・設置・取替工事をする場合は、必ず電力会社に連絡してください。 感電の危険があります。 |
|  | 本製品を屋根の上で人手により運搬する場合は、十分な足場を確保してください。 作業者の転落や製品の落下などにより、死亡事故やケガの恐れがあります。 |

1. 安全のために必ず守ること (続き)

● 搬入・移動上の注意事項 (続き)

⚠ 注意

| | |
|---|--|
| ! | 搬入・移動に際しては、製品の重心、重量を考慮して作業をしてください。 落下・破損などによりケガの原因になります。 |
| ! | 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにしてください。 腰を痛める原因になります |

● 据付けの際の注意事項

⚠ 注意

| | |
|---|---|
| ! | 据付け工事は専門業者が行ってください。 事故やトラブルの原因になります。 |
| ! | 安定した足場を確保して据付けてください。 転落してケガをする恐れがあります。 |
| ! | 十分な強度のある場所に据付けてください。 本体落下によるケガや事故の原因になります。 ※やむを得ず強度の弱い場所に据付ける場合は、十分な補強工事を施した後、据付けてください。 |
| ! | この製品は屋上取付用のため建屋屋上に水平に据付けてください。 ケガや事故の原因になります。 |
| ⊘ | 振動のある場所に据付けないでください。 共振を起こして、落下・破損などケガや事故の原因になります。 |
| ⊘ | 温度や湿度の高い環境に据付けないでください。 モータ焼損による火災や故障の原因、感電の恐れがあります。 (据付条件：-20～60℃以下、90%RH以下) |
| ! | 本製品および本体、架台は、ボルトや溶接でしっかりと固定してください。 強風による落下事故や、ボルトのゆるみによる振動音の原因になります。 |

1. 安全のために必ず守ること (続き)

●配線上の注意事項

⚠ 危険



活線状態で作業しないでください。
感電や火災の危険があります。

⚠ 注意



アース線接続

配線工事・アース工事は必ず有資格者である電気工事士が、電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
接触不良や誤った配線工事は、故障や火災、感電の恐れがあります。



漏電ブレーカーを必ず設置してください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



保護装置を必ず設置してください。
過電流保護装置は、電気設備技術基準により取付けが義務付けられています。モータ焼損による火災や破損を防止するため、必ず機器1台毎に定格に合った過電流保護装置をお取り付けください。過電流保護装置以外の保護装置（漏電遮断器など）も設置されることを推奨します。尚、本製品や本体に保護装置は付属していません。



モータ保護装置の設置の際は、接続ケーブルをコード押さえなどで確実に固定してください。
漏電や、ショートして火災の原因になります。



電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねないでください。
電源ケーブルが破損し、爆発・火災・感電の原因になります。



電源ケーブルは、公称断面積以上のものを使用してください。
容量不足のケーブルを使用すると、ケーブルが発熱して火災の危険があります。



結線は十分にご確認の上、行ってください。
定格と異なった電圧による運転、結線図と違った配線による運転、三相と单相を間違えた運転などをしますと、モータ焼損事故につながるおそれがあります。

1. 安全のために必ず守ること (続き)

● 試運転・運転の際の注意事項

⚠ 危険



停電した時は必ず電源スイッチを切ってください。
復帰時にケガの恐れがあります。

⚠ 警告



定格電圧内で使用してください。電源100V機種は、100V ± 10%、電源3相200V機種は、200V ± 10%
感電や、ショートして発火・爆発の原因になります。規定の電圧以外の電圧をかけないでください。



動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源を遮断し、電気工事施工店に必ず点検修理を依頼してください。
感電・漏電、ショートなどによる爆発・火災の恐れがあります。



羽根が回転中に、本機に指や髪の毛を近づけないでください。
回転中の羽根で指が切断されたり、重大なケガになります。



本機にぶら下がったり、物を吊るしたりしないでください。
ケガをすることがあります。



濡れた手で、電源プラグやスイッチ、配線などの電気回りを触らないでください。
感電やケガをすることがあります。



羽根が回転中に、器物を差込んだり、当てたりしないでください。
差込んだ物が壊れたり、羽根の変形などにより、事故の原因になります。



使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
ケガ、やけど、絶縁劣化による感電・漏電・爆発・火災の原因になります。





電源ケーブルが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。
感電や、ショートして爆発・発火の原因になります。







1. 安全のために必ず守ること (続き)

● 試運転・運転の際の注意事項 (続き)

⚠ 警告

| | |
|--|--|
|  | <p>電源ケーブルは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しないでください。 ケーブルが発熱して爆発や火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。</p> |
|  | <p>電源ケーブルに重い物をのせたり、挟み込まないでください。 電源ケーブルが破損し、爆発・火災・感電の原因になります。</p> |

⚠ 注意

| | |
|--|---|
|  | <p>本機に異常が発生した場合は、すぐに運転を停止し、電源を遮断してください。 感電・ケガ・火災の恐れがあります。</p> |
|  | <p>排気口をふさがないでください。 異常過熱による火災や、やけどの原因になります。</p> |
|  | <p>吸気口をふさいで長時間運転しないでください。 異常過熱による爆発・火災・やけどの原因になります。</p> |
|  | <p>本機の銘板およびモータの銘板は、常によく読めるようにしてください。 取外さないでください。</p> |
|  | <p>粉じんが多く発生する建屋では、必ず定期的に羽根やモータを清掃してください。 振動による事故の原因になります。また、モータに負担がかかり、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。</p> |
|  | <p>補助的な製品ですので、ほこりや塵などが多量に排出される恐れがある場合は別途機器を設けてください。 モータに負担がかかり、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。</p> |

1. 安全のために必ず守ること (続き)

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 危険



保守点検の際は、必ず制御回路のブレーカーと制御スイッチを切ってください。また、不注意などでスイッチを投入しないように、制御スイッチに「投入禁止」の札をつけてください。
感電や事故の恐れがあります。

⚠ 注意



修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしないでください。
発火したり異常動作してケガをすることがあります。



保守点検の際は、安定した足場を用意してください。
転落してケガをする恐れがあります。



清掃の際は、必ず電源を遮断し、羽根の回転が完全に止まってから行ってください。
感電やケガをする恐れがあります。



羽根交換の際は、モータ軸のキー溝を素手で触らないでください。
ケガをする恐れがあります。



保守点検の際は、モータを素手で触らないでください。
運転中のモータは、表面が高温になっています。停止直後のモータに触ると、やけどの恐れがあります。



本体・羽根などを拭く場合、タワシ・磨き砂・ベンジン・シンナーは使用しないでください。
塗装面を剥離し、腐食や羽根のバランス不良による事故の原因になります。本体・羽根などを拭く場合は、中性洗剤の薄め液を使用してください。






フィルターは長時間使用すると効果が低下します。目詰まりに注意してください。
点検、クリーニング、交換を行ってください。モータの破損、焼損の恐れがあります。

1. 安全のために必ず守ること (続き)

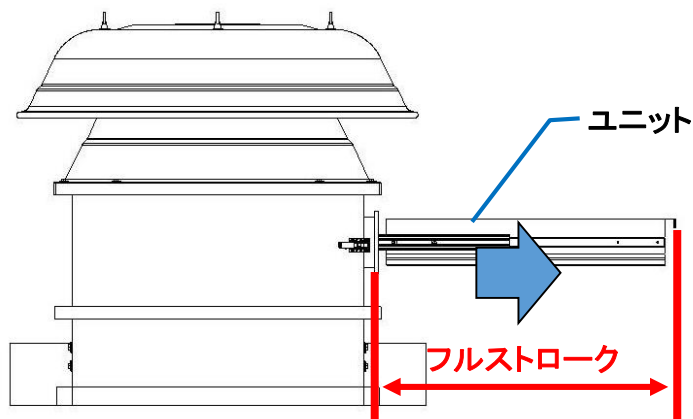
●保守・点検の際の注意事項 (続き)

⚠ 注 意

| | |
|--|--|
|  | <p>フィルターの交換目安は約1年に1回程度です。(使用環境により異なります。) モータ焼損の原因となる恐れがあります。</p> |
|  | <p>モータ及び羽根にほこりが多量に積もらないようにしてください。 モータの破損、羽根のバランス不良による事故の原因になります。</p> |
|  | <p>モータの水洗いは絶対にしないでください。 電気絶縁が劣化し、漏電、感電の原因になります。</p> |

2. 据付け前のお願い

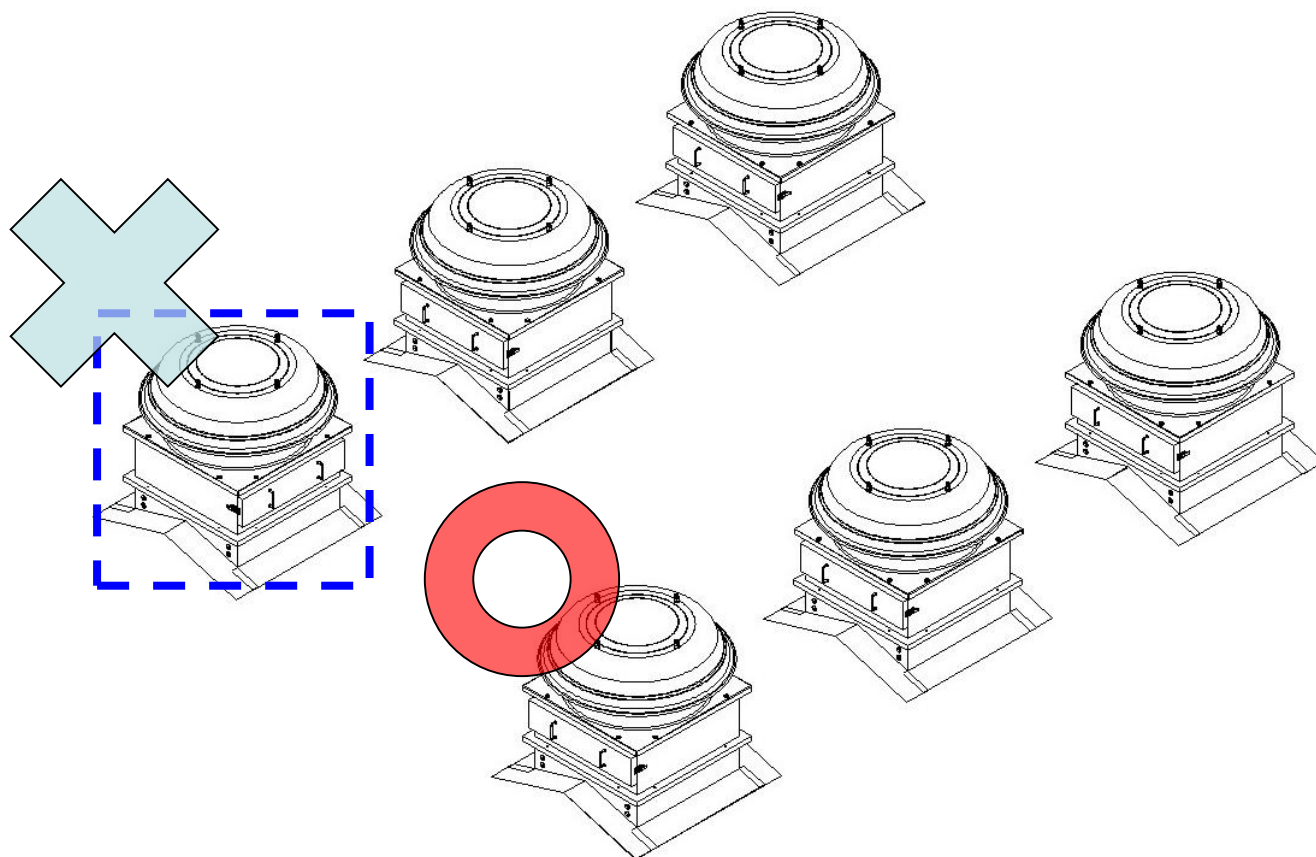
①フルストロック時、フィルター架台よりユニットが下記表の寸法で引き出されます。ユニットを全て引き出しても、動作に支障がないよう**障害物に干渉しない方向に据付けてください。**



| 規格 | フルストロック寸法 [mm] |
|---------|----------------|
| DFC-60 | 1010 |
| DFC-75 | 1360 |
| DFC-90 | 1360 |
| DFC-105 | 1640 |

②中間架台型フィルターを複数台設置する際には、**フィルターの引き出し方向を揃えて据付けてください。**

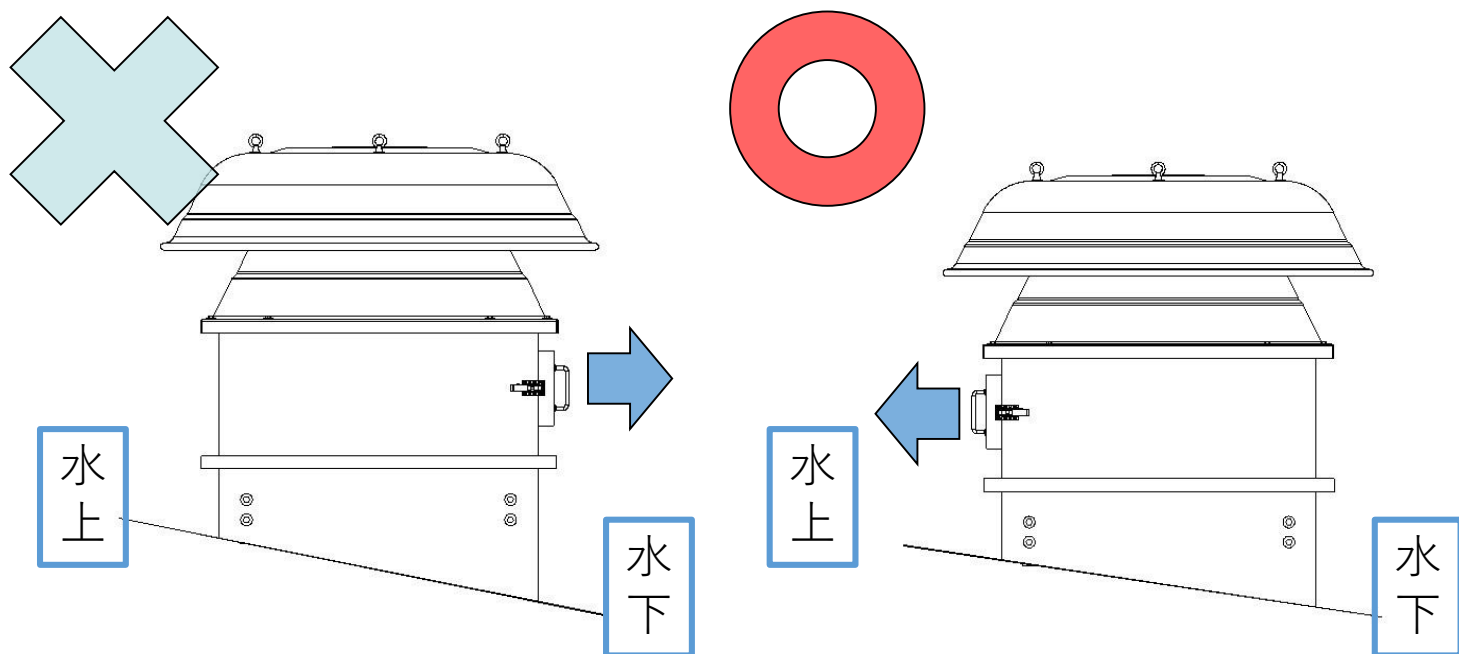
※安全に引き出せない場合はこの限りではありません。



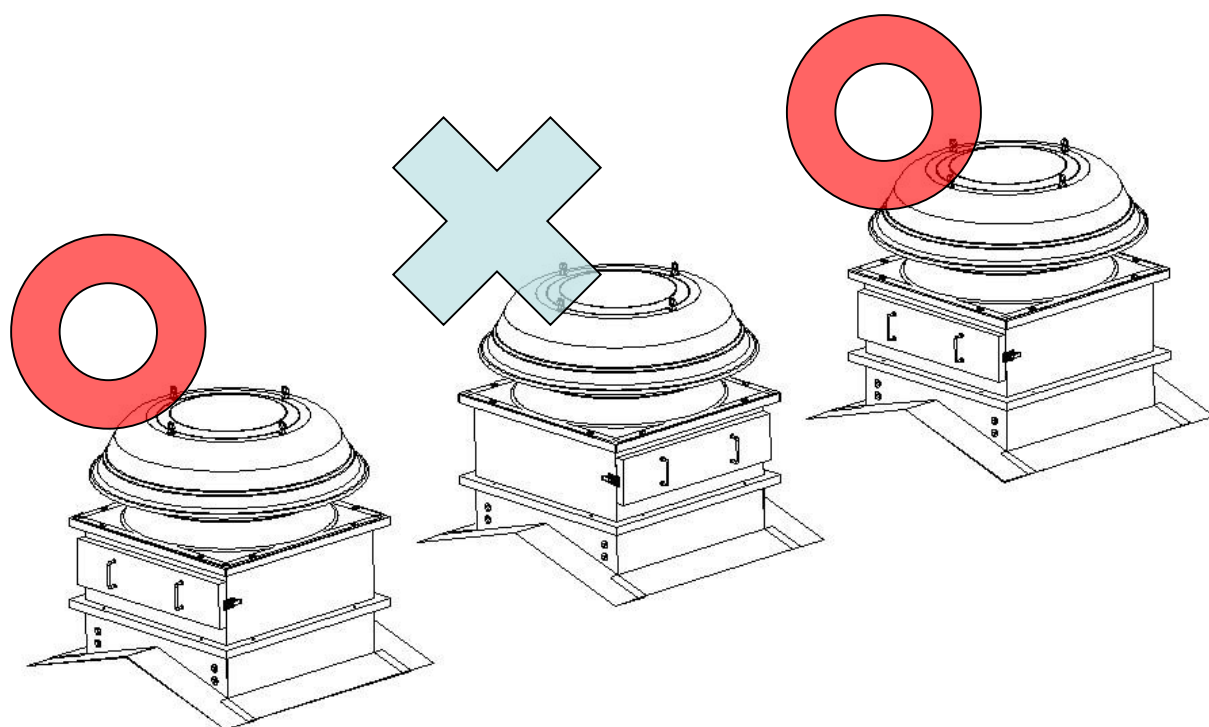
2. 据付け前のお願い (続き)

③片流れなどの場合、ユニットからフィルターが安全に取り出せるよう、引き出し方向は屋根の水上側に向くよう据付けてください。

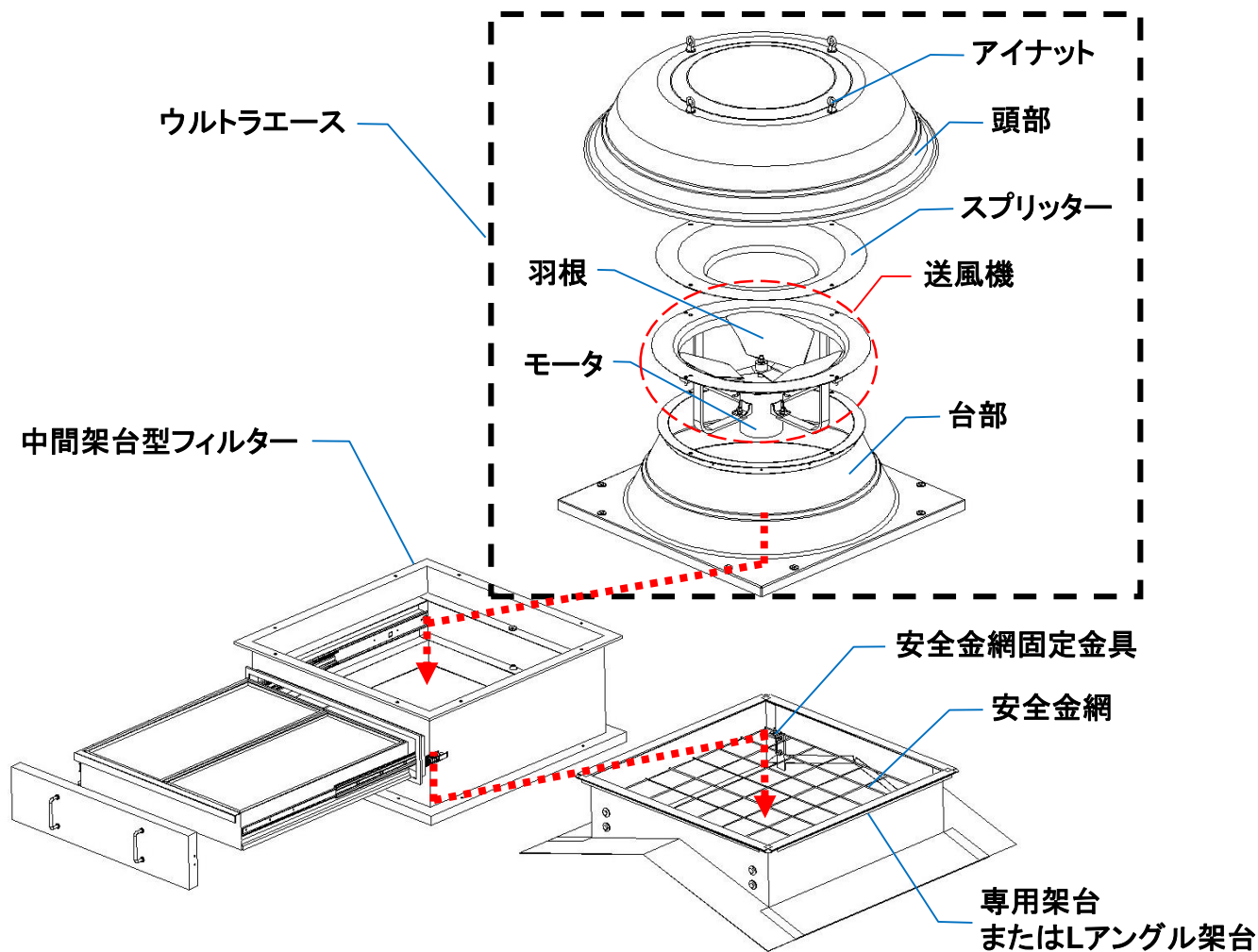
※安全に引き出せない場合はこの限りではありません。



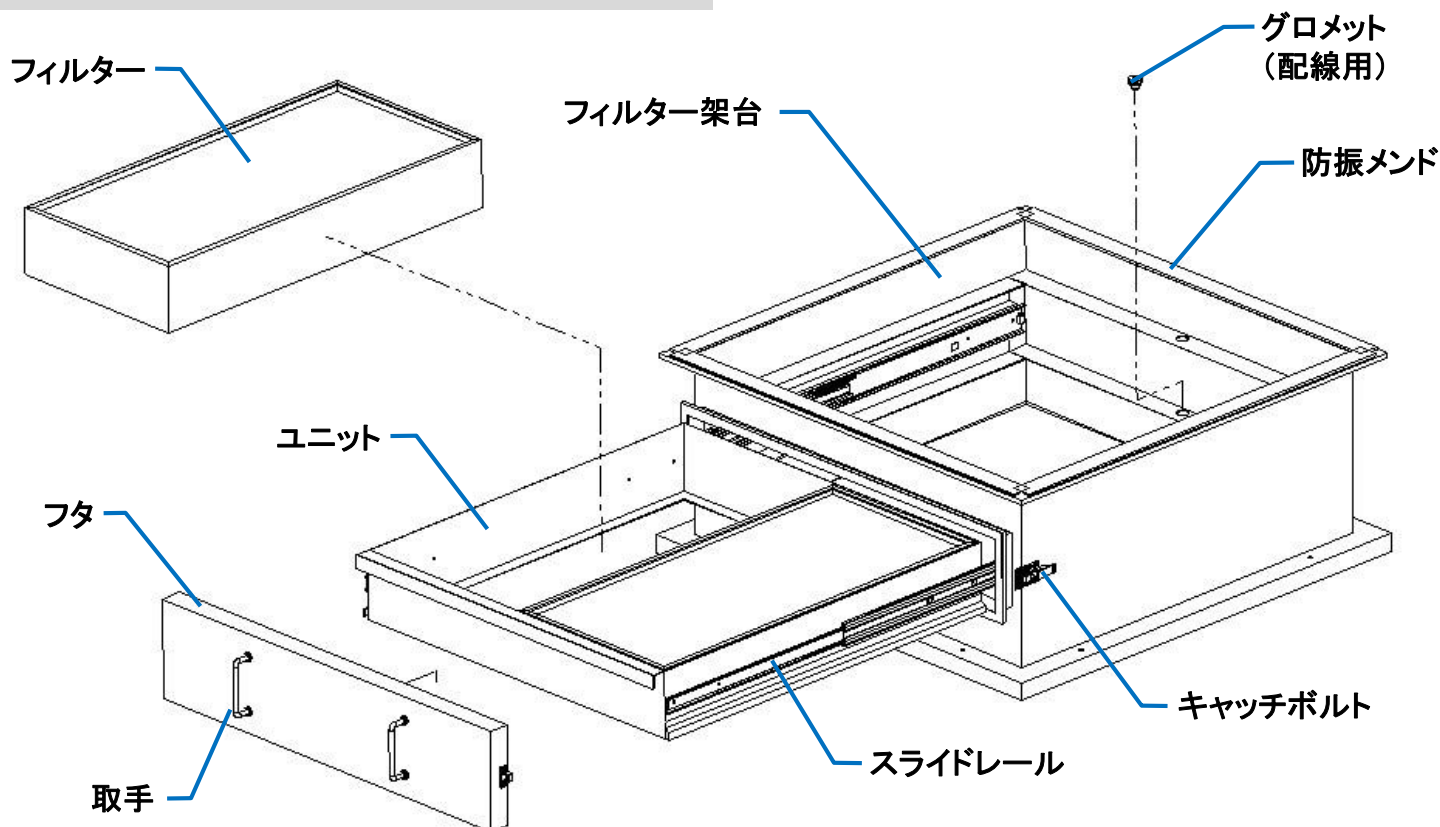
④切妻屋根の棟部に据え付ける場合、ユニットからフィルターが安全に取り出せるよう、引き出し方向は棟の通り方向と揃えるよう据付けてください。



3. 各部のなまえ



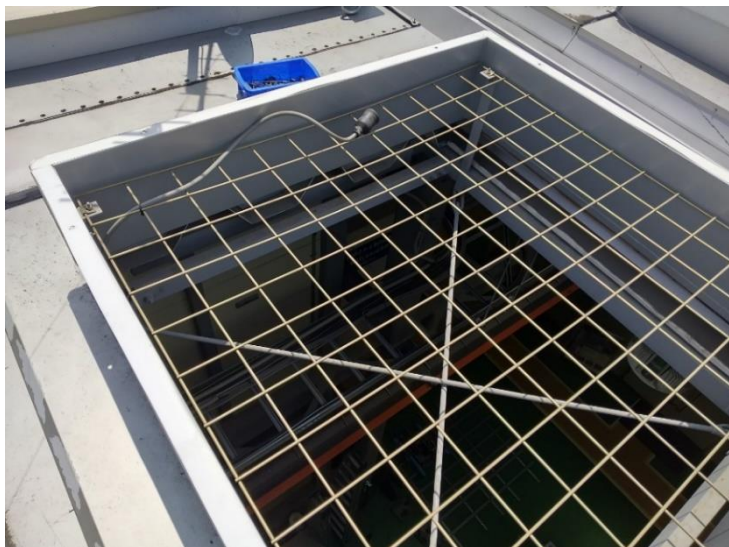
オプション品詳細



※形状は機種により異なります。図はDFC-60を示します。

4. 据付け方法

1 安全金網の取付



専用架台と取付金具を付属のM8ボルトセットで確実に締結します。安全金網を取付金具の上に設置し、固定金具で押さええます。付属のM8ボルトセットで留め付け、専用架台のフランジ部に付属の防振メンドを貼付します。

2 フィルター架台の取付



据付前のお願い（P.14、P.20～21）に注意して、フィルター架台を取り付けます。

4. 据付け方法 (続き)

3 フィルター架台の固定



M8ボルトセットでフィルター架台と専用架台を固定します。

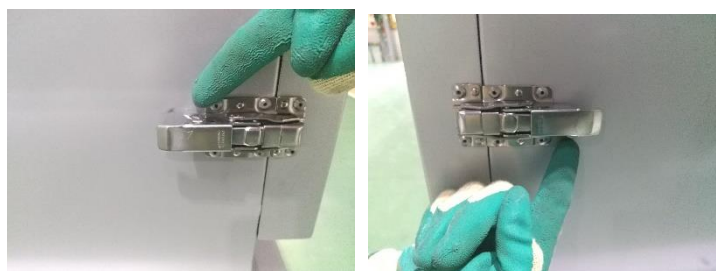
4 フタを外す



フタを取り外すため、キャッチボルトのセーフティロックを押しながら開錠します。

※左右でキャッチボルトのセーフティロック位置が異なりますので、ご注意ください

取手を持ち、やや上に持ち上げながらフタを外します。



左右でセーフティロックの位置が異なりますのでご注意ください

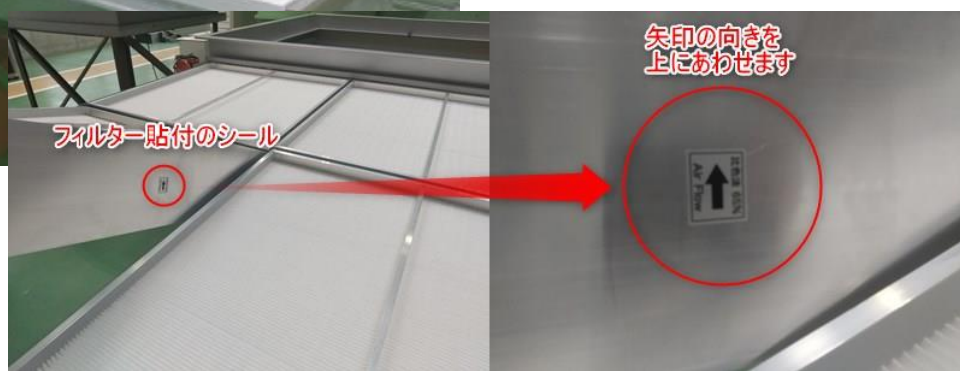


4. 据付け方法 (続き)

5 フィルターの搭載



ユニットを全て引き出し、フィルターを搭載します。枠内からはみださないよう納めてください。
 ※フィルターに貼付されているシールの矢印を上向きして搭載してください。



6 フタの取付



フタを取り付け、キャッチボルト2箇所留め付けてください。
※バネの力が強いので、操作時にはご注意ください。



4. 据付け方法 (続き)

7 台部の設置



フィルター架台のフランジ部に付属の防振メンドを貼付し、ウルトラエースの台部を設置。M8ボルトセットで留め付けます。



8 送風機の設置



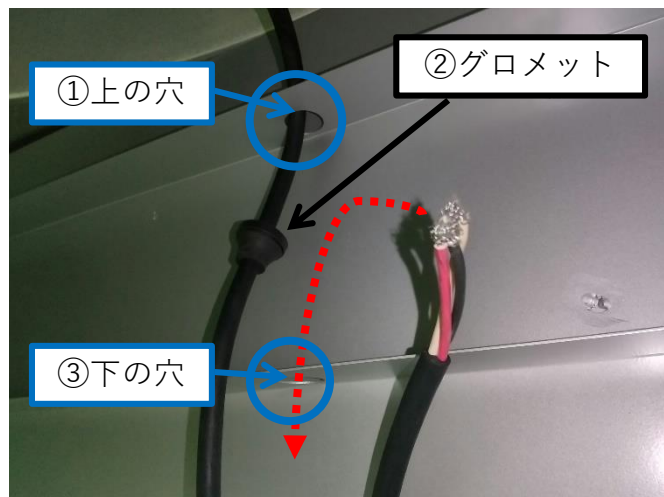
台部に送風機を設置します。送風機と台部の穴位置を合わせてください。また、次の工程で送風機のコードに付属のグロメットを通す必要がありますので、ご準備ください。



グロメットに穴が開いていない場合はカッター等を使用し、穴開けを行ってください。

4. 据付け方法 (続き)

9 送風機のコードを通す

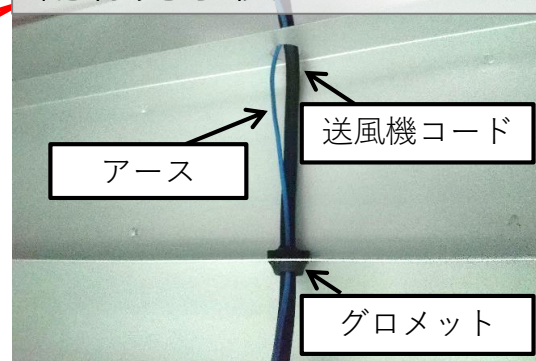


必要に応じてユニットを引き出し、フィルター架台のコード用の穴（2箇所）に送風機のコードを通します。
 まず①上の穴にコードを通し、②グロメットを取付けてから③下の穴にコードを通すようにしてください。

《配線作業について》

◎配線作業は電気事業者へ依頼してください。
 ※三洋工業では、ブレーカ、配線等の電気工事はいたしかねますのでご了承ください。

配線完了後のイメージ



10 頭部の取付



ウルトラエースの台部に頭部などを取り付けます。付属の部品にて組み合わせてください。しっかりと上部のアイナットを締め付けます。

5. 電気工事

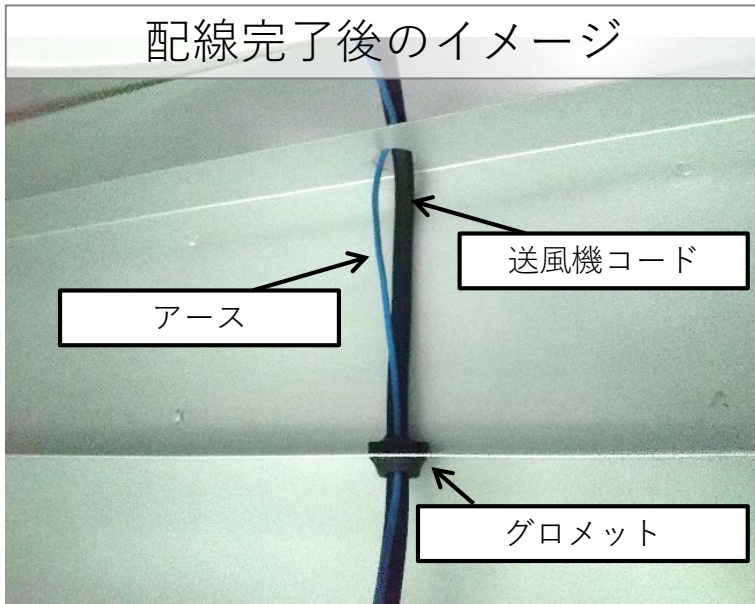
⚠ 注意



配線をする前にP.15「配線上の注意事項」をよく読んでから、配線工事をしてください。

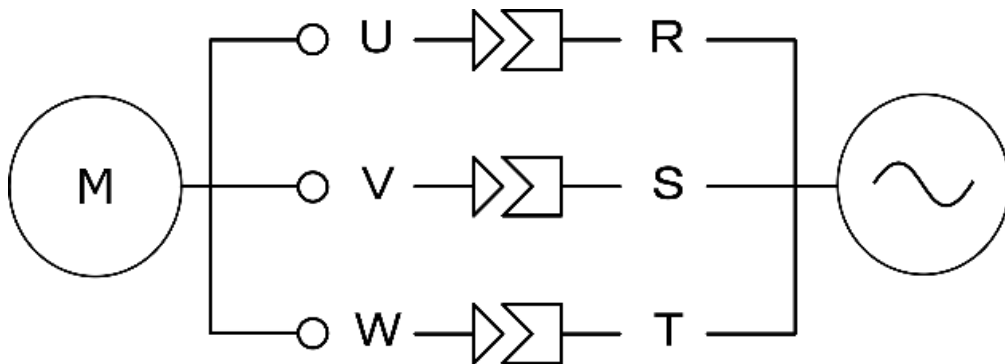
■配線工事・アース工事は必ず有資格者である電気工事士が、電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。

配線完了後のイメージ



換気扇のモータコード線は、本体下部から出ています。
 (P.23参照) フィルター架台部の配線用の穴(2箇所)を確実に通し、下部には付属のグロメットを設け、左図のように配線してください。

■屋上換気扇 結線例



モータコード線と電源ケーブルの結線は、上図を参考にしてください。モータコード線と電源ケーブルは、接続不良を防止するため、圧着端子を使って接続するか、または、これに準じる確実な方法で接続してください。接続後、絶縁テープで接続部をテーピングしてください。また、アース線を必ず接続し、D種(第3種)接地工事を行ってください。漏電ブレーカは必ず設置してください。

6. 試運転

⚠ 注 意



試運転をする前にP.16～17「試運転・運転の注意事項」をよく読んでから、試運転を行ってください。

据付け、電気工事終了後、必ず次の1～4をご確認の上、試運転を行って5、6をご確認ください。

| | |
|----|--|
| 1. | 製品は確実に据付けてありますか。 |
| 2. | 電源コードに傷・いたみはありませんか。 |
| 3. | 正しくアース工事（D種（第3種）接地工事）がしてありますか。 |
| 4. | 電源電圧は正しいですか。 |
| 5. | 異常な振動や騒音はありませんか。 （異常な振動がある場合は運転を停止し、電気工事内容を確認してください。） |
| 6. | 回転方向が逆ではありませんか。 （回転方向を修正する場合は、3本の電源のうち2本を入れ替えてください。回転方向は承認図をご確認ください。） |

★長年ご使用の屋上換気扇の点検を！



愛情点検

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。



お願い
異常があれば使用を即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理を依頼されるときは・・・

■ まずはお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

故障と思われましたら本紙P.8～9と下表に従って点検・確認し、尚も異常があるときは、必ず電源を切ってお買い上げ日と下記項目を確認の上、ご連絡ください。修理できる場合には、ご要望により修理させていただきます。尚、修理の費用には、技術料、部品代、出張料等が発生します。詳細は販売店・工事店にご相談ください。

1. 製品名
2. 品番・製造番号
3. 使用状態（製品設置状況、使用期間、1日あたりの運転時間など）
4. 異常状態・現象（いつごろからか、またどんな時に発生するのか）
5. 取扱気体（一般換気用か、清浄空気か、また用途は何か）

| 原因 \ 症状 | 風量不足 | 騒音過大 | 振動過大 | モータ過熱 | 運転しない | 対策 |
|----------------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 基礎が弱い | | ○ | ○ | | | 基礎補修 |
| 据付け不良 | | ○ | ○ | | | 据付調整 |
| 定格と異なった電圧による運転 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 電源確認 |
| 回転体と静止部の接触 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 点検・調整 |
| 異物混入、塵埃付着 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 点検・調整 |
| 誤結線 | ○ | ○ | | ○ | ○ | 結線変更 |



快適空間の創造

三洋工業株式会社



URL: <https://www.sanyo-industries.co.jp>

本社:〒130-0012 東京都墨田区太平二丁目9番4号 TEL.03(5611)6310 FAX.03(5611)6311 東証一部上場

- 北海道支店(札幌) TEL.011-879-3451
- 釧路営業所 TEL.0154-36-8334
- 旭川営業所 TEL.0166-47-6133
- 函館営業所 TEL.0138-48-0522
- 東北支店(仙台) TEL.022-232-5311
- 盛岡営業所 TEL.019-638-4151
- 青森営業所 TEL.0176-21-2161
- 山形営業所 TEL.023-681-7511
- 郡山営業所 TEL.024-952-4233

- 北関東支店(大宮) TEL.048-664-4651
- 高崎営業所 TEL.027-346-3971
- 宇都宮営業所 TEL.028-661-2571
- つくば営業所 TEL.029-861-1590
- 関東支店(東京) TEL.03-5637-5100
- 横浜営業所 TEL.046-275-3521
- 千葉営業所 TEL.043-286-6575
- 松本営業所 TEL.0263-86-7170
- 静岡営業所 TEL.054-246-5151
- 新潟営業所 TEL.025-280-9127

- 名古屋支店(名古屋) TEL.052-202-3451
- 金沢営業所 TEL.076-268-1081
- 富山営業所 TEL.076-492-5331
- 大阪支店(大阪) TEL.06-6385-5241
- 高松営業所 TEL.087-811-3447
- 松山営業所 TEL.089-952-6966
- 広島支店(広島) TEL.082-261-9321
- 岡山営業所 TEL.086-242-0223
- 徳山営業所 TEL.0834-26-1131
- 九州支店(福岡) TEL.092-943-2003
- 鳥栖営業所 TEL.0942-83-1682
- 大分営業所 TEL.097-551-1120
- 長崎営業所 TEL.095-847-3501
- 熊本営業所 TEL.096-354-9120
- 鹿児島営業所 TEL.099-269-6331
- 沖縄営業所 TEL.098-850-5511